

平成27年2月4日

浜田市議会議長 原 田 義 則 様

議員名 芦 谷 英 夫



## 調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

- 1、期 間 平成27年1月22日（日）
- 2、研修内容 グループでの創業セミナー  
～企業組合・LLC・株式会社の事例を中心に～
- 3、研 修 先 川本町 邑悠ふるさと会館
- 4、調査経費 浜田⇒川本町⇒浜田（自家用車使用）  
ガソリン代（自家用車）2,145円



グループでの創業セミナー  
～企業組合・LLC・株式会社の事例を中心に～

平成27年2月4日

- 1 日 時 平成27年1月22日(木) 13時30分～15時40分  
2 場 所 美郷町 ゴールデンユートピアおおち  
3 内 容

- ① 島根県中小企業団体中央会主催による「グループでの創業セミナー」が開催され、これは株式会社のほか有限責任事業組合、企業組合、合同会社、一般社団法人、NPO法人など多様な連携組織の形態が制度化されており、地域での組織化を促進しようとするを目的として開催された。
- ② 中小企業診断士清水透氏の講演では、地域の仲間での創業、グループやチームによる創業、コミュニティビジネス、事業体の違いなどの説明、それぞれの組織体の設立手順、根拠法、目的、主な特徴などについても説明された。
- ③ コミュニティビジネスを展開し、地域が抱える日常のニーズに応えるビジネスで、営利会社や行政では解決できないまま放置されている課題を地域で解決するビジネスで、生活と仕事と地域をつなげる仕事、社会貢献や社会参加などと定義されており、行政が主導して組織化を進める必要がある。
- ④ 成功例として紹介された道の駅「萩しーまーと」は、人口約5万人の萩市に年間利用者数140万人を誇り、売上高は年間10億円に達する。人気の秘密は既存のやり方を否定し、ターゲットを観光客ではなく“地元客”に絞り、品揃えからサービスまで地元客に喜ばれ地元から愛される店として多くの人出があり、全国からも注目を集めている。
- ⑤ 「産直市みずほ企業組合」専務理事石川保氏の事例発表では、企業組合は道の駅瑞穂の指定管理者で農産物直売所、農産処理加工場、石州ラーメン瑞穂屋などを運営しており、26年度は前年度に比べ6%売り上げを伸ばしており、ターゲットは広島、武器(商品)は多く持つ、宣伝は新聞、と強調された。

4 所 見

- ① 軽度の介護サービスなどを市民団体やボランティアで行うことが求められ、過疎高齢化が進む中山間地域などの振興に特産品の商品化の考案と生産や販売、若い人や女性の起業が求められている。
- ② 市として組織化の相談、支援などの体制について整備、拡充する必要がある、それらのグループ化と創業などを進める。
- ③ 子育て、環境問題やごみのリサイクル、買い物難民対策、高齢者の生きがいつくりや安否確認などおよそいま地域社会で課題となっている事柄について、企業や創業などによる対応が必要である。
- ④ 道の駅の「萩しーまーと」と「瑞穂」の事例は、難渋している浜田市の夕日パーク、お魚センターなどの経営改善のヒントになり、瀬戸ヶ島地区の集客施設整備構想の参考となる。

—以上—